

桐蔭横浜大学 vs 国士舘大学

10月20日(日)
11:30K.O.
千葉東総

なかなか調子が出なかった桐蔭大だが、前節は順大に2-1の勝利を収めた。しかし、手放しで喜べる試合内容ではない。

「ゴールポストに助けられた部分があった。自分たちのミスから失点しているし、内容も決してよくなかった。よく勝てたというのが感想」(八城修監督)

それでも、後半戦3勝目を挙げただけに、ここからしっかりと反撃したいところ。

「負傷者の影響や、本調子ではない選手がいて思うようにできていない。連敗もあって自信を失っている中で、うまくチームが回っていない」

と八城修監督も苦しいチーム状態に頭を悩ますが、連敗を3でストップできたことは大きいし、PKとはいえ後半のアディショナルタイムに大きな勝点3を得たことは、今後の自信回復につながるはずだ。

後半戦、いまだ負けがない好調な国士大。前節も明大に先制点を奪われながら、後半、逆転に成功した。

「前半は耐える試合だった。後半は選手の動き出しがよく、立ち上がりで得点できたのはよかった。2点目もいつも練習でやっていたように、一人がつぶれて2、3人目で決めるパターン。試合全体のプランとしては満足し

ている」(細田三三監督)

これで7試合負けなしと後半戦、一番の好調チームとあっていいが、「前半は待ち構える姿勢になってしまっていた。引いた形になっていた」(細田監督)

というように、負けていないことがプレッシャーに変わり、安全運転になってしまわないかが不安材料だ。

出場停止：平松宗(国士大) 警告3回：古澤慶太、福島翔太郎、大泉和也、山根視来(以上桐蔭大)

前回の対戦：桐蔭大1-0(シュート数7-8)国士大 桐蔭大 国士大

16. 長谷	11. 山根	26. 佐々木	2. 石川
6. 福島		10. 新村	3. 吉田
	35. 大野		20. 松本
1. 島崎	30. 宇羽井	20. 今関	21. 久保田
	9. 大泉		7. 橋本
4. 古澤		8. 福田	4. 今瀬
33. 田内	8. 山崎	14. 進藤	22. 藤寄

早稲田大学 vs 順天堂大学

10月20日(日)
13:50K.O.
千葉東総

首位・専大を追う早大だが、前節の筑波大戦は1-3の痛い敗戦を喫してしまった。

「優勝に向けて、絶対に負けられないという位置づけで戦った。前半、自分たちのやろうとしていたことができただけに悔しい」(古賀聡監督)

前半6分に先制点を奪ったが、「積極的に前線からプレッシャーをかけた点はよかった。1回外されても2回外されても連続し、ポジションを修正して相手にプレッシャーをかけ続けられた。そこからボールを奪い、早い攻撃でチャンスを作っていたところはよかった」(古賀監督)

しかし、後半は風下ということもあり押し込まれる状況で、アグレッシブにボールを奪うことができず、失点につながった。しっかりと立て直すことができるか。

桐蔭大に1-2で敗れ、2連敗を喫してしまった順大。ポストに2回シュートが当たるなど、試合の内容を見れば惜しい敗戦、勝ちきれた試合だったが、吉村雅文監督はまずゲーム運びに喝を入れた。

「試合の入りと、終わりのところがどれだけ大事かという話。そこをコントロールできるのが大学生のいいところなのに、それができない」

前半22分にFKを直接決められ、後半の36分に追いつきながら、アディショナルタイムにPKから失点。15節の東洋大戦も前半4分と早い時間帯に失点し、その後、うまくゲームを展開できなかっただけに、しっかりと自分たちの戦いを見直す必要があるだろう。攻めているように見えて、相手にしっかりと守られているという部分もあるだけに、さらに効果的な攻撃をし、チャンス自体を増やしていきたいところだ。

警告3回：中田航平、池西希(以上早大)、宮本和輝(順大)

前回の対戦：早大0-1(シュート数6-5)順大 早大 順大

6. 三竿	8. 近藤洋	10. 井村	16. 吉永
3. 金沢	25. 宮本		3. 清水
	5. 池西		15. 青木
21. 阿部		11. 原田	8. 天野
	4. 中田		6. 岡崎
2. 奥山	10. 榎本		13. 宮本
		7. 和田	
26. 西山	7. 近藤貴		12. 友澤

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.17 Division1



編集：加茂郁実 発行：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

2位・早大、筑波大に痛恨の1敗を喫する！

後半戦もすでに折り返しを迎えた「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。終盤戦に向け、白熱した戦いが繰り広げられている。快調に首位を走る専大は、夏の全国大会・総理大臣杯を制した流経大と対戦。この日は前半30分に先制点を奪うと、36分、後半16分、26分と着々と加点。そして、守備陣も今シーズン初の無失点に抑えて4-0の快勝を飾り、ガッツリ首位をキープした。流経大は本来の力を発揮できず、押されっぱなしのゲームとなってしまっただけに立て直しが必要だ。

優勝するためには絶対に負けられない早大は、後半戦好調の筑波大との試合。前半6分に早大が先制点を奪ったが、後半は筑波大が3ゴールを決め、3-1で逆転勝利。筑波大の好調は止まらない一方で、早大は痛い1敗。上位争いの中では残争いの東洋大と対戦。15節で慶大に大勝した勢いそのままに、この日も5ゴールを決めて5-0の大勝。東洋大は再び最下位に転落し、苦しんでいる。

ようやく調子が出てきた明大と後半戦絶好調の国士大の一戦は、明大が前半40分に先制点を奪ったが、後半に国士大が2ゴール。2-1の逆転勝利を収めた。国士大は後半戦、いまだ無敗。明大も試合内容は悪くなかったが、勝つまでには至らなかった。

得点ランキング

仲川 輝人(専大) 12点
長澤 和輝(専大) 9点
榎本 大希(早大) 9点
以下7得点5名

アシストランキング

橋本 拓門(国士大) 5アシスト
中野 嘉大(筑波大) 5アシスト
砂川優太郎(中大) 5アシスト
仲川 輝人(専大) 5アシスト
以下4アシスト5名

桐蔭大と順大の一戦は、前半22分に桐蔭大が先制点を奪うと、順大が後半36分に同点に追いつく緊迫したゲーム。しかし、桐蔭大がアディショナルタイム2分に勝ち越しゴールを奪って、大きな勝点3をゲットした。順大は痛い連敗。

後半戦、低調が続く日体大と慶大の両チームだが、慶大が後半21分までに3ゴール。その後、2失点してしまったのは反省点だが、ようやく後半戦初勝利で反撃ののろしを上げた。日体大は後半戦、いまだ勝利がなく苦しんでいる。首位・専大と2位・早大の勝点差は8に開いた。残り6試合。このまま、専大が突っ走るのか!?

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が10月23日に延期したため暫定順位

順位	チーム名	専大	早大	中大	筑波大	明大	桐蔭大	国士大	流経大	順大	日体大	慶大	東洋大	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大		201 11月24日	502 11月2日	201 10月27日	401 11月9日	602 11月9日	201 001	203 400	201 001	11月17日	601 10月19日	301 201	16	12	2	2	44	19	25	38
2	早大	102 味フイ西		201 11月9日	100 10月27日	201 11月2日	11月17日	201 201	300 003	001 10月20日	11月17日	302 10月27日	100 302	16	9	3	4	25	21	4	30
3	中大	205 駒陸	102 古河		200 11月2日	301 10月19日	11月17日	102 10月26日	000 000	200 10月26日	001 11月23日	100 300	11月9日	16	7	4	5	29	18	11	25
4	筑波大	102 BMWス	001 301	002 11月2日		000 11月16日	100 401	102 11月2日	11月17日	11月23日	301 10月26日	300 11月9日	500 11月23日	15	7	4	4	29	20	9	25
5	明大	104 11月17日	102 江戸陸	103 川口	000 たつこの		302 11月23日	201 10月26日	000 401	401 11月9日	000 10月26日	202 200	001 302	16	6	5	5	25	22	3	23
6	桐蔭大	206 江戸陸	11月17日	11月17日	001 味フイ西	203 10月20日		100 10月20日	301 001	302 201	100 11月2日	201 401	102 10月27日	16	7	2	7	25	27	-2	23
7	国士大	102 100	202 202	201 駒二	201 フクアリ	102 201	001 千葉東総		11月17日	201 11月16日	401 11月9日	11月23日	11月23日	16	7	2	7	23	25	-2	23
8	流経大	302 004	003 300	000 たつこの	101 古河	000 10月4日	103 10月1日	11月2日	000 10月27日	201 11月17日	002 11月23日	301 10月26日	100 11月2日	16	5	5	6	16	23	-7	20
9	順大	102 11月17日	100 千葉東総	002 201	103 味フイ西	104 江戸陸	203 10月2日	500 10月2日	000 味フイ西		11月2日	602 11月2日	202 10月2日	16	5	3	8	28	26	2	18
10	日体大	11月17日	11月17日	100 BMWス	203 味フイ西	000 川口	000 ゼットイー	104 たつこの	003 003		11月2日	203 10月19日		16	4	4	8	19	26	-7	16
11	慶大	106 古河	102 味フイ西	001 106	001 003	202 002	102 104	302 保土ヶ谷	103 たつこの	206 フクアリ	201 302		201 11月17日	15	4	1	10	20	43	-23	13
12	東洋大	103 102	001 203	11月17日	505 たつこの	100 203	201 BMWス	102 たつこの	001 江戸陸	202 201	202 川口	103 三ツ沢		16	3	3	10	22	35	-13	12

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

どうせなら、勝って泣きたい。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

流通経済大学 vs 筑波大学

10月19日(土)
11:30K.O.
古河

首位・専大と対戦した前節だが、0-4の完敗を喫してしまっただけ。あまりにもふがない内容に中野雄二監督は、「メンバーを大幅に代える」と断言した。

「パスを回されるのは仕方がないけれど、それに対してディフェンスラインがズルズルと引くだけ。1点目も2点目も、ゴール前で簡単に打たれすぎ」（中野監督）

確かに、これまで勝ちに結びついていた試合は、チーム全体で積極的な守備ができていた。首位・専大を相手にもそういったプレーが求められていたものの、この日は腰が引けたプレーが目立ってしまった。

「失点するまでは悪くなかった。カウンター気味だけどウチも2、3点決めるチャンスがあった。そこで決められない。一方、専大はそこでしっかりと決めてくる。ウチと首位の差がハッキリと出た試合」（中野監督）

リーグ戦で初の連敗に、中野監督は終始厳しい表情。大胆な変革が迫られている。

「強い早大にしっかりと勝ててよかった」というのは筑波大・中山雅雄監督。前節の早大戦は先制点を奪われたものの、後半に3ゴールを決めて3-1

で下した。

「先制された試合だったが、きちんと追いついて最後に逆転できた点はよかった。一方でまだまだ細かいミスがあって、そういう部分を一人ひとりが高い意識で改善しないといけない。プレーの質を上げることがチームの質の向上につながると思うので、もっと高いレベルを目指したい」（中山監督）

警告3回：藤原雅斗（流経大）、谷口彰悟、車屋紳太郎、上村岬、若杉拓哉、中野嘉大（以上筑波大）

前回の対戦：筑波大1-1（シュート数4-12）流経大流経大 筑波大

29. 橋本	20. 江坂	11. 中野	18. 早川
5. 川崎	9. 石井		17. 西村
	25. 古波津		3. 谷口
1. 八巻		19. 若杉	10. 上村
	7. 中山		1. 神舎
			7. 葺本
28. 藤原	18. 田上		5. 車屋
6. 富田	23. 森保	8. 玉城	12. 三丸

中央大学 vs 明治大学

10月19日(土)
11:30K.O.
川口

後半戦スタート時はなかなか勝ちきれなかった中大だが、前節の東洋大戦は5-0の完勝。連勝を飾り、ようやく波に乗ってきた。

「失点もしっかりゼロで抑えたように、ディフェンス面においてもチャレンジしていたので、そのイメージで続けてくれたらいい」（白須真介監督）

最下位の東洋大が相手とはいえ、前節の戦いには手応えを得た様子だ。

「やられた時間帯もあったが、最後のところはしっかりとブロックできていた。守備面で90分間、集中力を切らすことなくできていたので、それが勝利の要因だと思う」（白須監督）

このディフェンスを今後も続けていくことができるか。ようやく調子が出てきた明大だったが、前節は好調・国士大を相手に先制点を奪いながらも1-2の敗戦を喫してしまった。

「勢いのあるチームが相手で、力の差が出た。前半を1点リードで折り返したが、決して安心はしていなかった」（神川明彦監督）

前半、国士大のシュート数はゼロ。明大のペースで試合を進めることができていたが、そこで1点しか奪えな

かったのが響いた。

「前半は国士大があまりプレッシャーをかけてこなかったもので、明大のペースに見えた。後半にいろいろ仕掛けてくると思った。そこにはまってしまった」（神川監督）

後半、一気に国士大のペースに持ち込まれると2ゴールを奪われてしまった。ここで耐えられるようになると、また一步、チームとして成長するのだが……。ここが正念場だ。

警告3回：細見諒、岡崎亮平、小出啓太（以上中大）
前回の対戦：中大3-1（シュート数8-7）明大

6. 高瀬	10. 澤田	18. 秦	12. 室屋
5. 木村		28. 矢島	4. 小出
	4. 細見		6. 水野
1. シュミット	25. 渋谷	11. 川越	1. 三浦
	8. 田辺		16. 差波
3. 大和田		22. 藤本	3. 山越
13. 鈴木	7. 砂川	27. 石原	5. 小川

専修大学 vs 慶應義塾大学

10月19日(土)
13:50K.O.
古河

守備陣にケガ人が多発する専大。苦しいゲームが続くが、前節の流経大戦は4-0と久しぶりに攻撃陣が爆発し、大勝を収めた。しかし、「もっと決められるところがあった」（源平貴久監督）

「この試合こそ4得点できたが、これまでの試合を振り返るとなかなか追加点が奪えずに攻撃のリズムが悪かったり、よくても点につながらない試合が多かっただけに、今後も決定力が試合を左右するのは間違いない。

一方のディフェンス面だが、今リーグ初の無失点試合に守備陣も自信を持っていいだろう。全体だけではなく、最終ラインが体を張ってしっかりと守っていた。それでも、源平監督は気を引き締める。

「早大との勝点差が8ポイントに開いても、最後まで接戦になる。一度、どこかで並ばれたり、抜かれる可能性があると思っている。最終戦やその前の試合でしっかりと勝てるようにチームを作っていく」（源平監督）

後半戦、なかなか結果が出ない慶大だったが、前節は同じく後半戦不調の日体大と対戦し、3-2で競り勝った。後半戦初勝利を足がかりにして、上昇気流に乗りたところだ。

「日体大戦で負けると、ほぼ2部降格が決まってしまうので、勝つことを目標にやってきた。その目標を達成できてよかった。選手たちがよくやってくれたと思う。しっかりと守ってカウンターという練習をしてきたので、それをみんなが徹底してやり、得点できたので非常によかった」（須田芳正監督）

終盤に2失点してしまったのは反省材料だが、全員で守備に徹し、勝ち取った勝点3は今後につながるはずだ。
警告3回：河津良一、前澤甲気（以上専大）、松下純土、溝渕雄志（以上慶大）

前回の対戦：専大6-1（シュート数16-10）慶大 専大 慶大

12. 小口		2. 岩田	19. 溝渕
15. 篠崎	11. 前澤	30. 長尾	22. 久保
	8. 下田		8. 松下
1. 福島	6. 河津	7. 長澤	12. 福本
	14. 星野		20. 端山
44. 中村	10. 仲川	10. 武藤	25. 宮地
	2. 北爪	14. 川田	5. 増田

日本体育大学 vs 東洋大学

10月19日(土)
13:50K.O.
川口

慶大と激突した前節は2-3の敗戦。これで後半戦6連敗を喫し、なかなかトンネルを抜け出せない日体大。「勝てない状況が続いていた両チームの戦いだったが、慶大は守備から入ってきた。前半、ボールを回していたのに最後を崩すことができず、カウンターをくらって失点。そういう部分はしっかりと修正しなければいけない」（倉又寿雄監督）

相手の徹底した守備を崩しきれず、そこからリズムが悪くなると失点を重ねてしまった。

「3失点後、捨て身になってセンターバックの選手も前に出て、みんなで点を取るぞという意気込みを魅せてくれた。そこで点を取れたことは、今後に生かして欲しいと思う」（倉又監督）

確かに2点を取り返した部分は評価できるが、やはり失点が多すぎる点をどうにかしなければいけない。

15節では順大を相手に守備的に戦い、2-1の勝利を収めた東洋大。しかし、前節の中大戦は守りきれず5失点を喫してしまった。

「完敗。いいところをみつけるのが難しい試合だった。ここまでリーグ戦を戦った中で失点が多かったため、失点をゼロ、もしくは最少失点に抑えられるようにしよう

と試合に臨んだ。前半で1失点するのは仕方がないとしても、2点、3点と失点してはゲームプランとしては成り立たない」（古川毅監督）

前半26分に2失点目を喫したばかりか、40分には3失点目。後半開始時に2選手を投入し、チームの活性化を図ったが、「点差に反映するまでにはいかず、残念だった。1部で戦っていきけるだけの強さを身につけたい」（古川監督）

出場停止：北脇健慈（日体大）警告3回：宮内啓汰（日体大）
前回の対戦：日体大3-1（シュート数9-3）東洋大 日体大 東洋大

2. 宮内	15. 阿部	29. 仙頭	7. 馬渡
5. 中西	14. 長谷川	11. 黒須	12. 内田
	6. 石井		10. 桑田
21. 大野			22. 沖野
	10. 稲垣		6. 石川
4. 菊地	25. 雨宮	32. 遊馬	16. 筑井
13. 川田	16. 手塚	14. 平石	24. 村田

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想